

福岡県施設園芸用施設導入方針

平成 27 年 3 月

福 岡 県

12

17

25

29

32

43

48

55

57

60

65

66

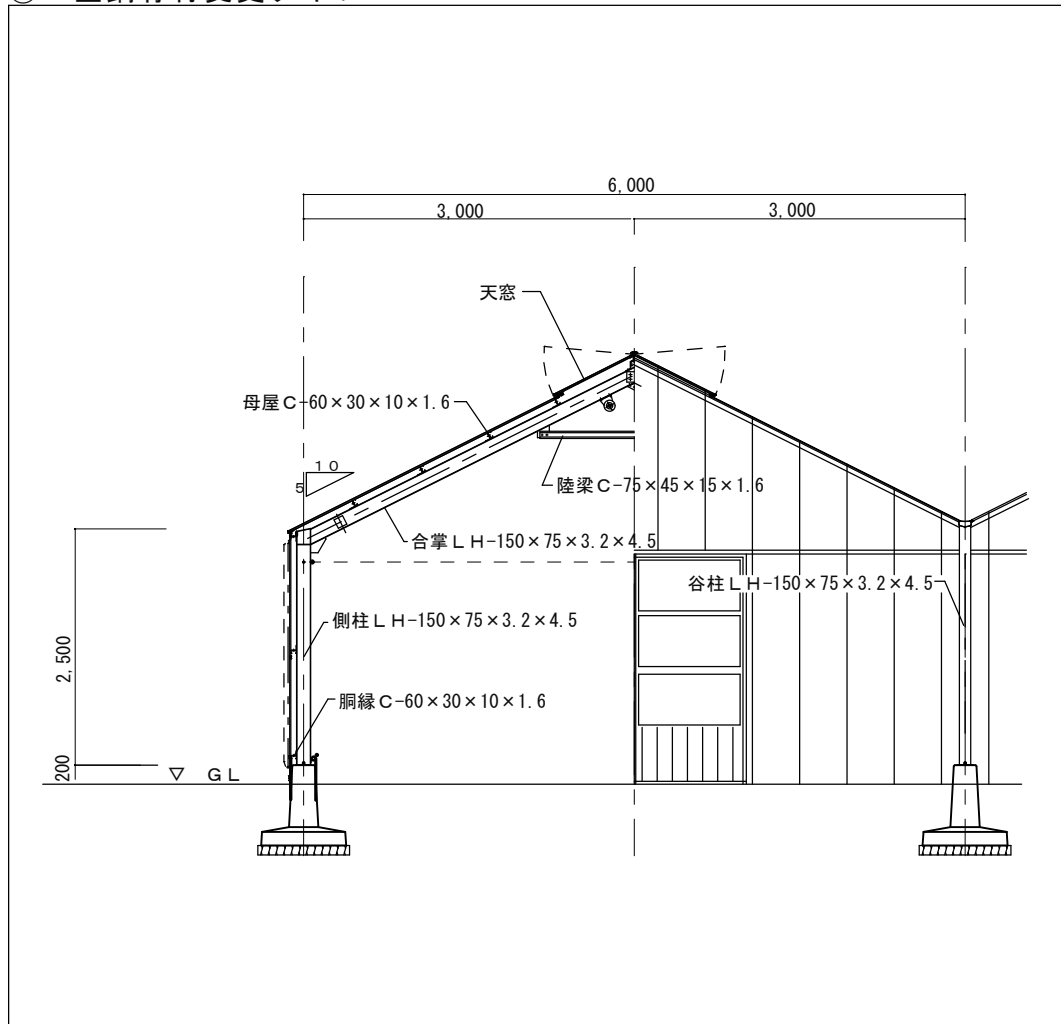
I 福岡県施設園芸用施設導入方針

第1 趣 旨

間口(m)	奥行(m)	軒高(m)	連棟	部材費	標準工事費	間口(m)	奥行(m)	軒高(m)	連棟	部材費	標準工事費
					⑬H型鋼タイプ (LH-150*100*3.2*4.5)	10.0	40	3.0	3		
					⑭H型鋼タイプ(屋根型)	8.0	40	4.2	3		
7.0	48	2.2	3		⑮□-75*45タイプ(通常基礎)	8.0	50	2.6	3		
6.5	37.5	2.2	4		⑯486パイプタイプ	8.0	50	2.6	3		
7.2	46	1.9	3		⑰318パイプタイプ	7.2	46	1.9	3		

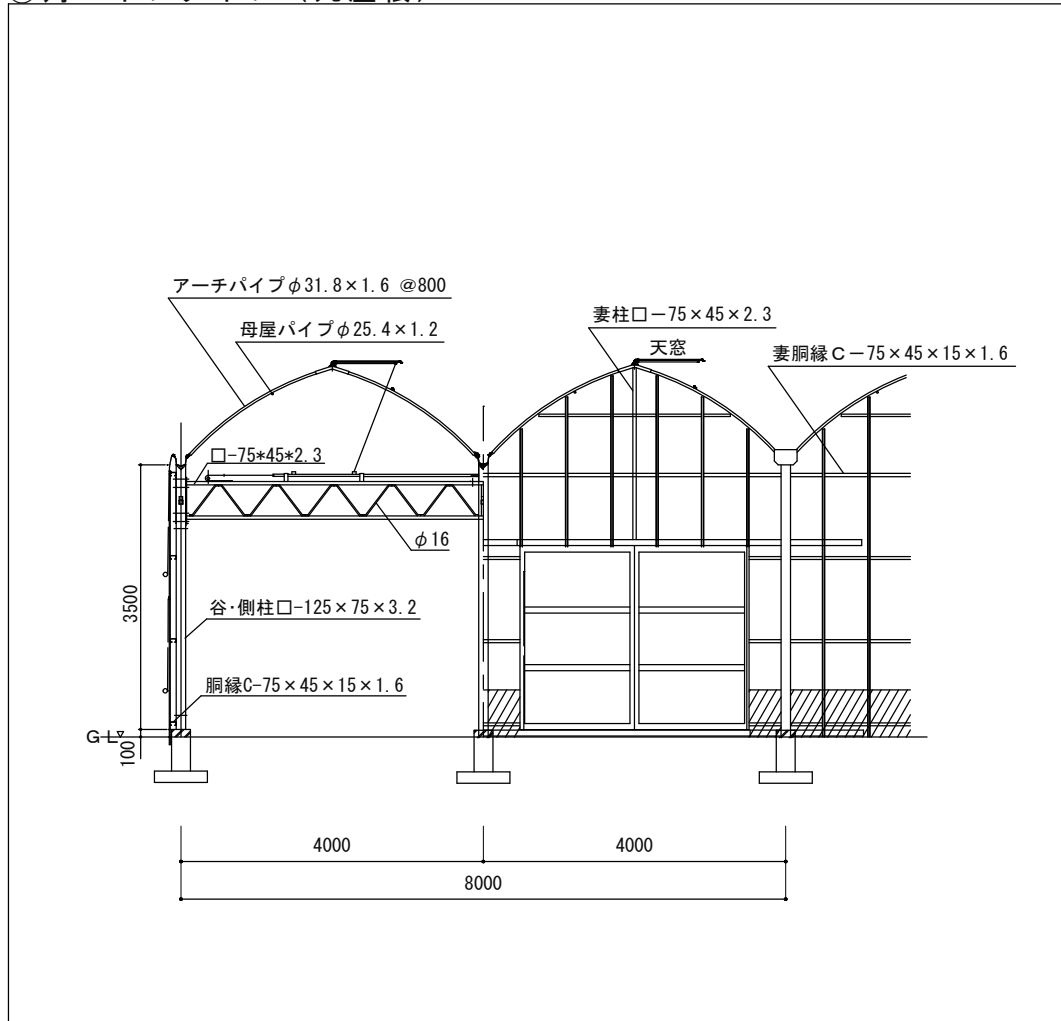


(1) 耐候性ハウス
 ① H型鋼骨材変更タイプ



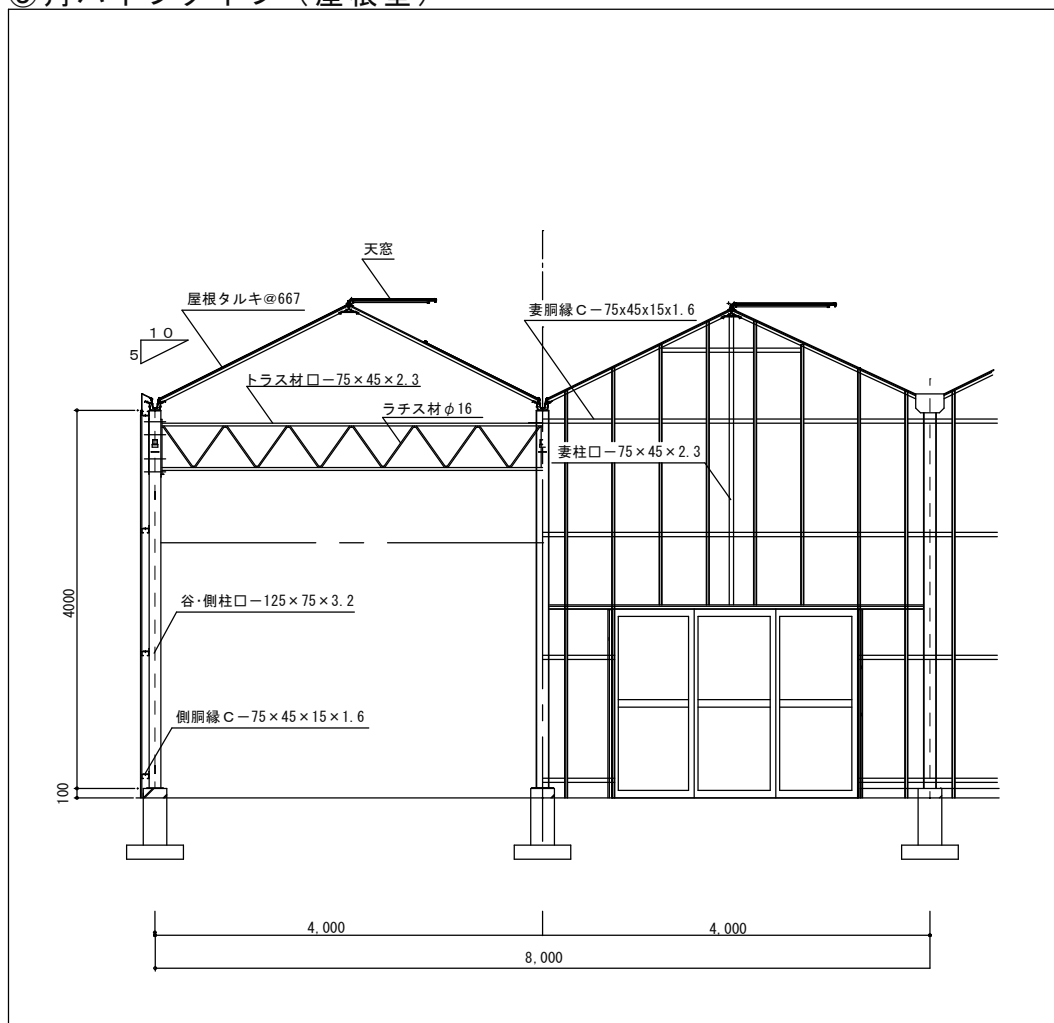
名 称		鉄骨ハウス (大屋根タイプ)
		耐候性ハウス
		① H型鋼骨材変更タイプ
間 口 (m)		6.0~8.0
奥 行 (m)		30~100
軒 高 (m)		2.0~3.0
1スパン (m)		@3.0
屋根勾配		5/10 (26.5°)
タルキ間隔 (m)		@0.5
主 要 資 材	基礎	基礎寸法は土質条件による
	合掌	LH-150x75x3.2x4.5
	側・谷柱	LH-150x75x3.2x4.5
	陸梁	C-75x45x15x1.6
	妻柱	LH-150x75x3.2x4.5
	母屋材	C-60x30x10x1.6
	胴縁	C-60x30x10x1.6
	アーチ	-
	ブレース	屋根・柱 φ12
被覆材	軟質・硬質プラスチックフィルム(長期展張)	

(1) 耐候性ハウス
 ②角パイプタイプ (丸屋根)



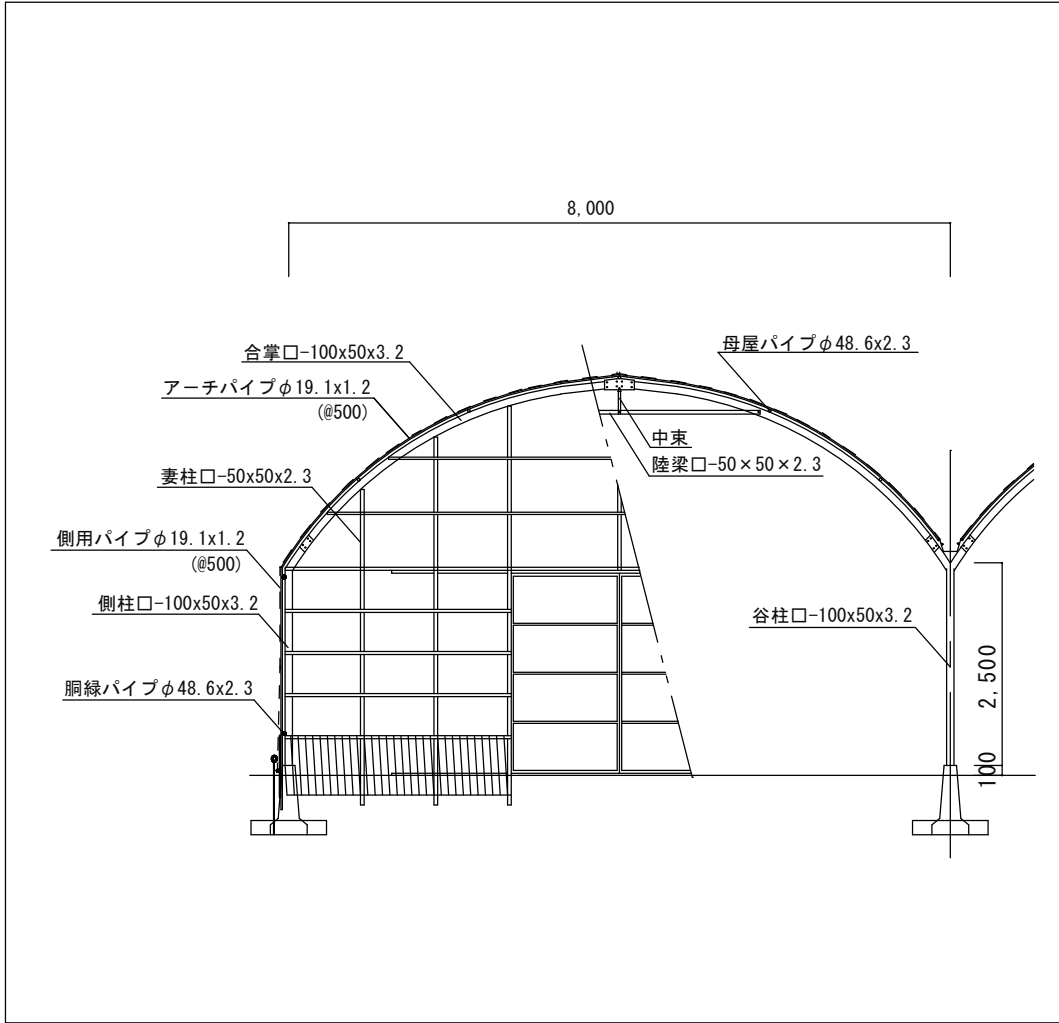
名 称		フェンロー型タイプ
		耐候性ハウス
		②角パイプタイプ (丸屋根)
間 口 (m)		6.0~9.0
奥 行 (m)		30~100
軒 高 (m)		3.0~4.0
1 ス パ ン (m)		@ 3.0~4.0
屋 根 勾 配		ドーム型
パイプ間 隔 (m)		@ 0.8
主 要 資 材	基礎	基礎寸法は土質条件による
	合掌	—
	側・谷柱	□-125×75×3.2
	陸梁	トラス式 □-75×45×2.3、φ16
	妻柱	□-75×45×2.3
	母屋材	φ25.4×1.2
	胴縁	C-75×45×15×1.6
	アーチ	φ31.8×1.6
	ブレース	屋根・柱 φ13
被覆材	軟質・硬質プラスチックフィルム (長期展張)	

(1) 耐候性ハウス
 ③角パイプタイプ(屋根型)



名 称		フェンロー型ハウス
		耐候性ハウス
		③角パイプタイプ(屋根型)
間 口 (m)		6.4~9.0
奥 行 (m)		30~100
軒 高 (m)		3.0~4.2
1 ス パ ン (m)		@4.0
屋 根 勾 配		5/10(26.5°)
タルキ間隔 (m)		@0.667
主 要 資 材	基礎	基礎寸法は土質条件による
	合掌	—
	側・谷柱	□-125×75×3.2
	陸梁	トラス式 □-75×45×2.3、φ16
	妻柱	□-75×45×2.3
	母屋材	—
	胴縁	C-75×45×15×1.6
	アーチ	複合タルキ
	ブレース	屋根・柱 φ13
被覆材	軟質・硬質プラスチックフィルム(長期展張)	

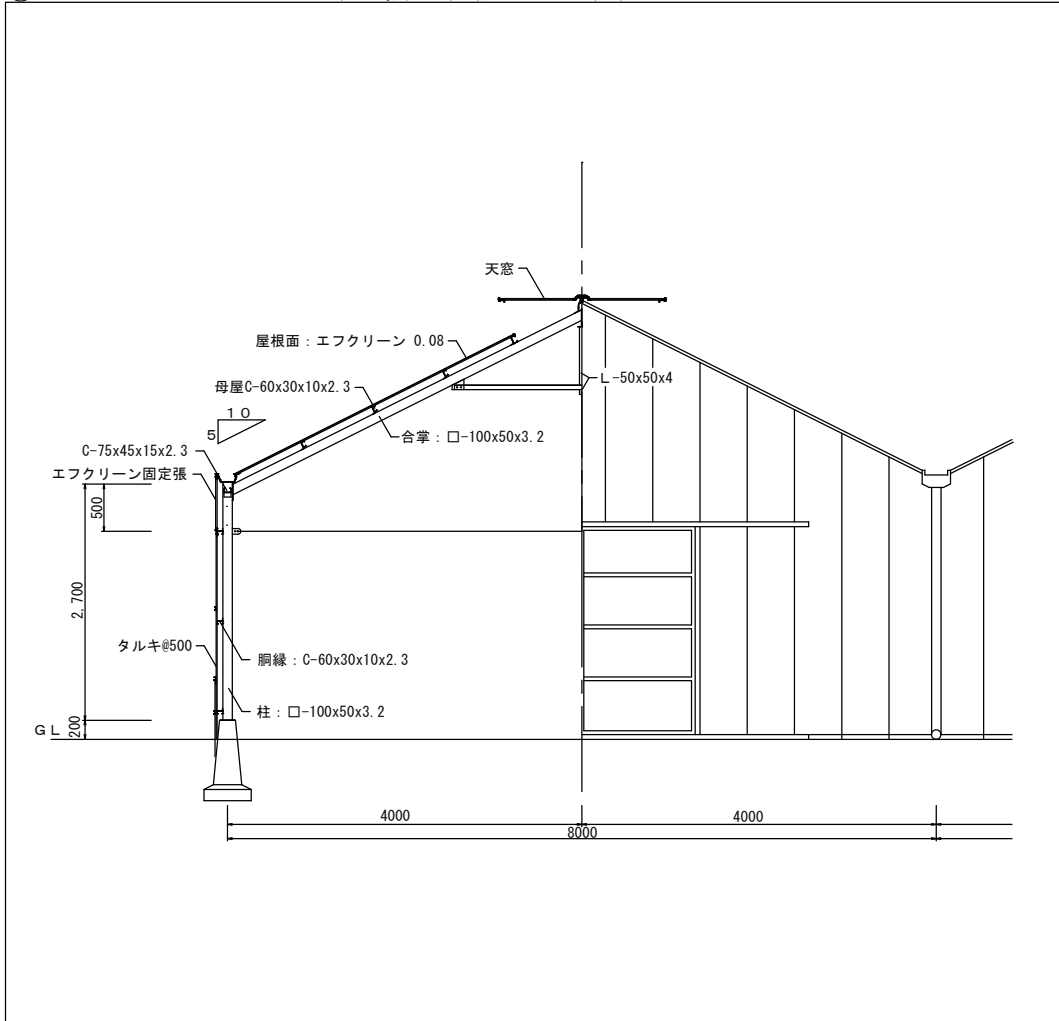
(1) 耐候性ハウス
 ④ □-100×50タイプ(丸屋根)(大型基礎)



名 称		鉄骨補強型パイプハウス
		耐候性ハウス
		④ □-100×50タイプ(丸屋根)(大型基礎)
間	口 (m)	6.0~8.0
奥	行 (m)	30~100
軒	高 (m)	1.8~3.0
1	スパン (m)	@3.0
屋	根 勾 配	ドーム型
パイ	プ 間 隔 (m)	@0.5
主 要 資 材	基礎	基礎寸法は土質条件による
	合掌	□-100×50×3.2 (2.3)
	側・谷柱	□-100×50×3.2 (2.3)
	陸梁	□-50×50×2.3
	妻柱	□-50×50×2.3 (1.6)
	母屋材	φ48.6×2.3
	胴縁	φ48.6×2.3
	アーチ	φ19.1×1.2
	ブレース	屋根・柱 φ12
	被覆材	軟質・硬質プラスチックフィルム(長期展張)

※軒高2.5m以下の場合は () 内の基準で可。

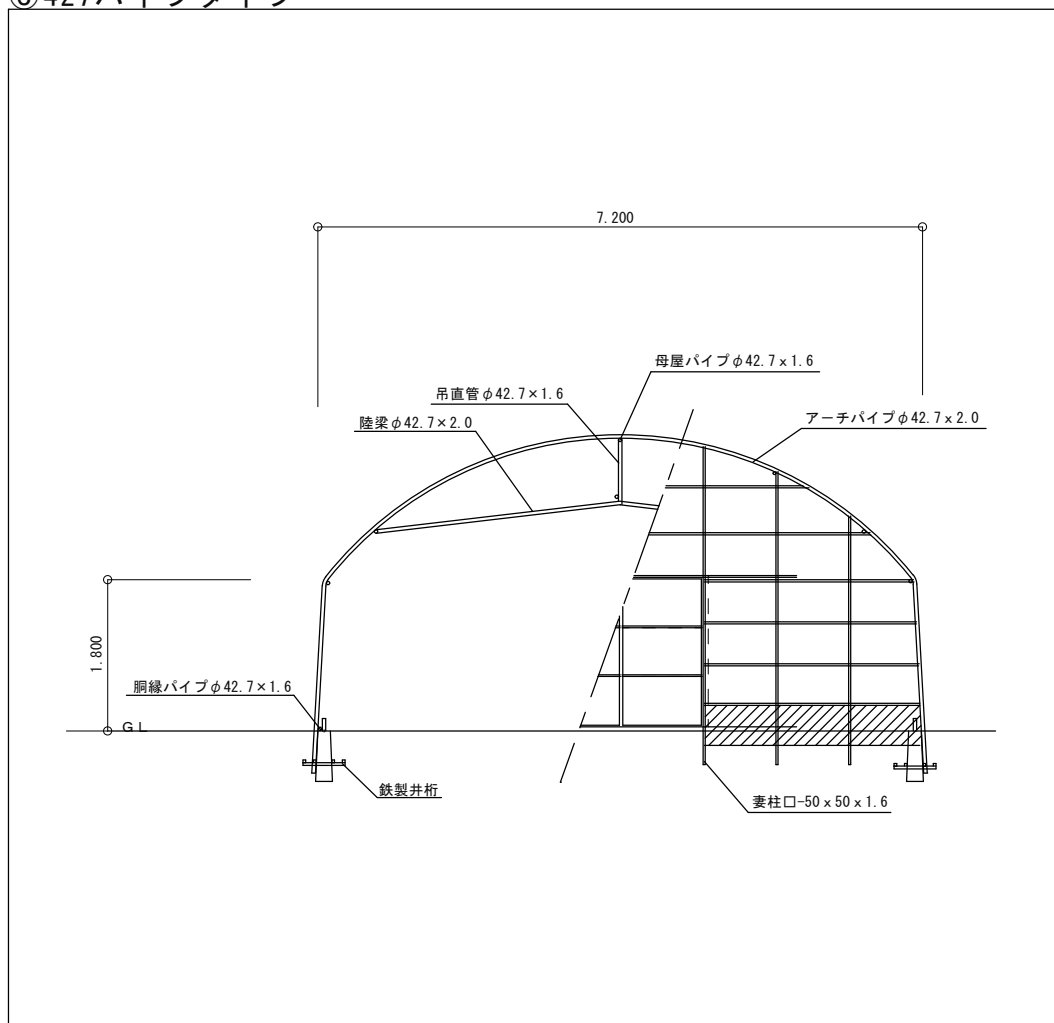
(1) 耐候性ハウス
 ⑤ □-100×50タイプ(屋根型)(大型基礎)



名 称		鉄骨補強型パイプハウス
		耐候性ハウス
		⑤ □-100×50タイプ(屋根型)(大型基礎)
間	口 (m)	6.0~8.0
奥	行 (m)	30~100
軒	高 (m)	1.8~3.0
1スパン	(m)	@2.5~@3.0
屋根	勾配	5/10
タルキ	間隔 (m)	@0.5
主 要 資 材	基礎	基礎寸法は土質条件による
	合掌	□-100×50×3.2 (2.3)
	側・谷柱	□-100×50×3.2 (2.3)
	陸梁	L-50×50×4
	妻柱	□-75×45×2.3 (1.6)
	母屋材	C-60×30×10×2.3 (1.6)
	胴縁	C-60×30×10×2.3 (1.6)
	アーチ	-
	ブレース	屋根・柱 φ12
被覆材	硬質プラスチックフィルム(長期展張)	

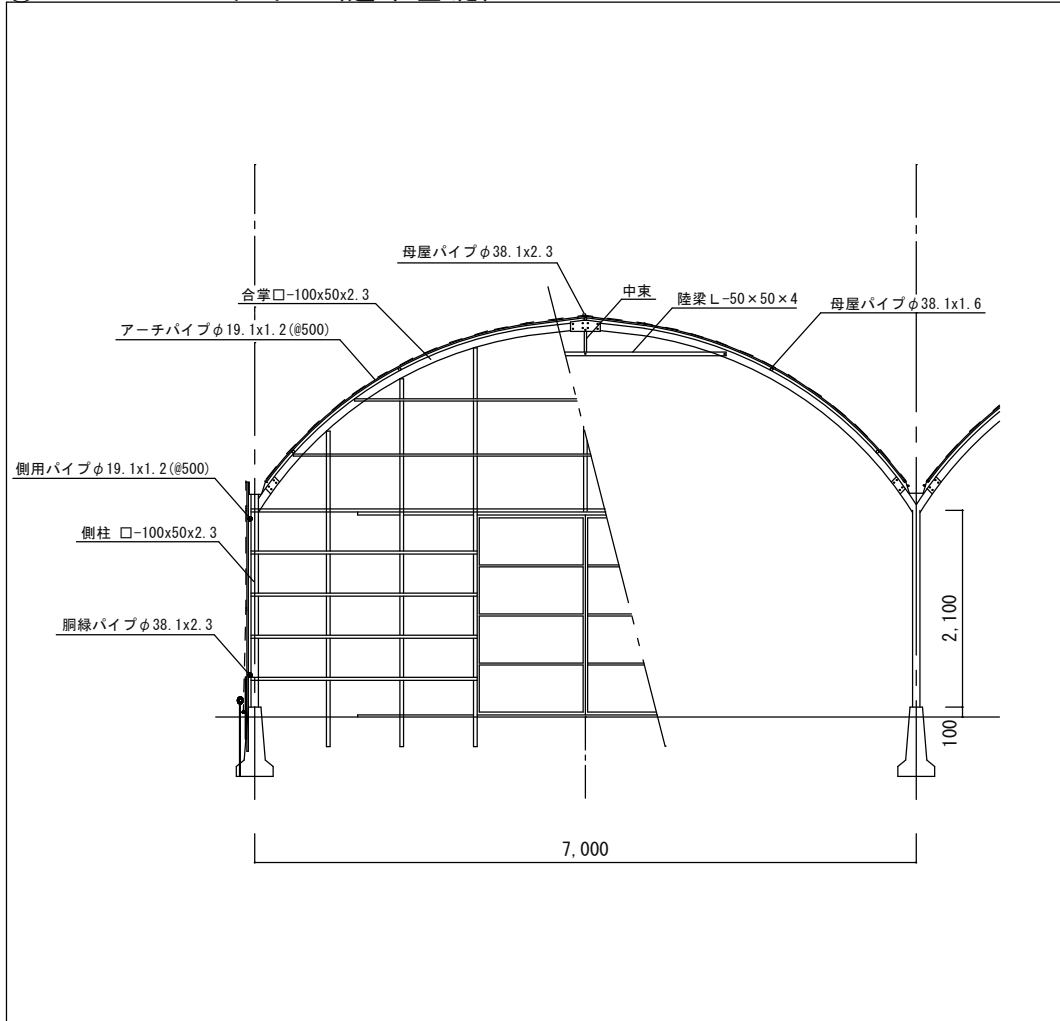
※軒高2.5m以下の場合は () 内の基準で可。

(1) 耐候性ハウス
 ⑥427パイプタイプ



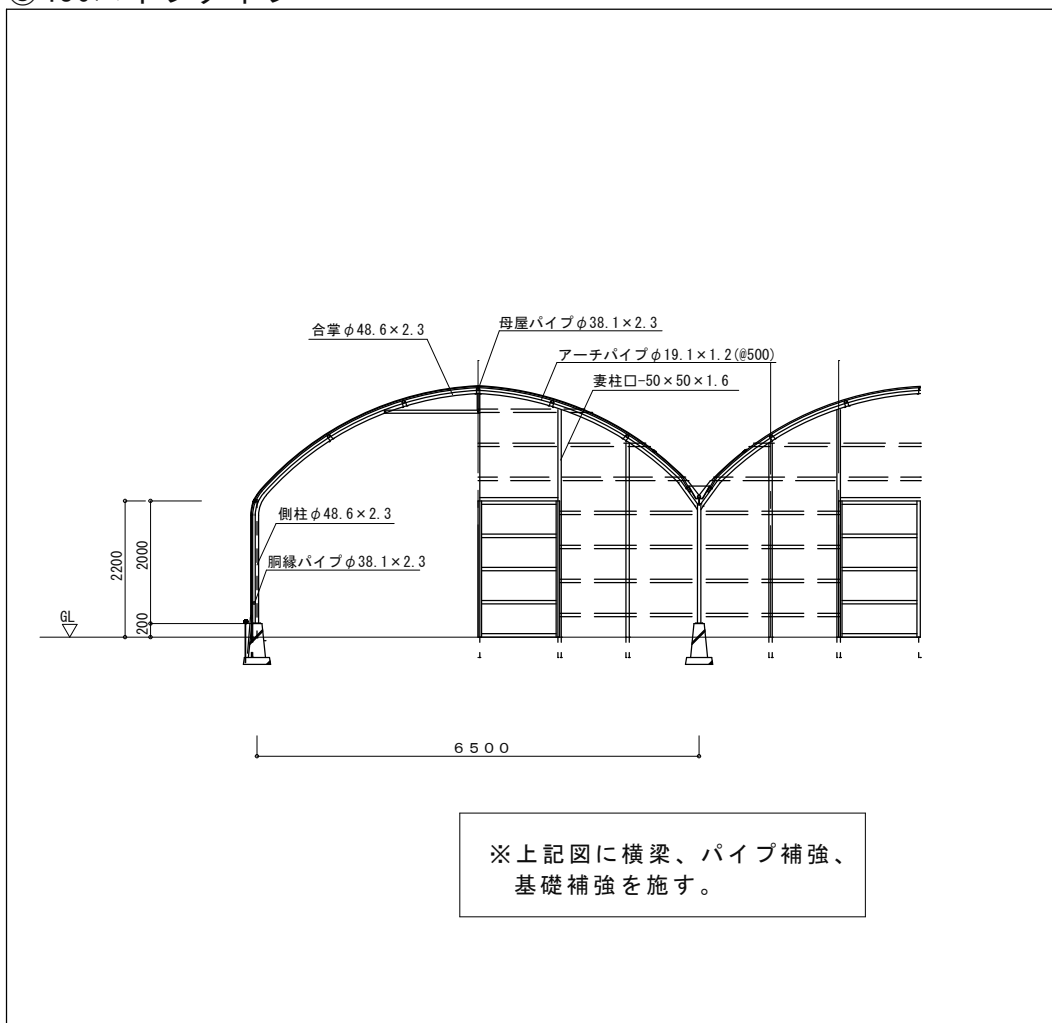
名 称		単棟パイプハウス
		耐候性ハウス ⑥427パイプタイプ(妻部分に井桁基礎)
間	口 (m)	4.5~7.2
奥	行 (m)	30~100
軒	高 (m)	1.5~2.0
1	スパン (m)	—
屋	根 勾 配	ドーム型
パイ	プ 間 隔 (m)	@0.9
主 要 資 材	基礎	150□×200□×600(妻部のみ)
	合掌	—
	側・谷柱	—
	陸梁	φ42.7×2.0
	妻柱	□-50×50×1.6
	母屋材	φ42.7×1.6
	胴縁	—
	アーチ	φ42.7×2.0
	ブレース	—
被覆材	軟質プラスチックフィルム	

(2) 補強型ハウス
 ⑦ □-100×50タイプ(通常基礎)



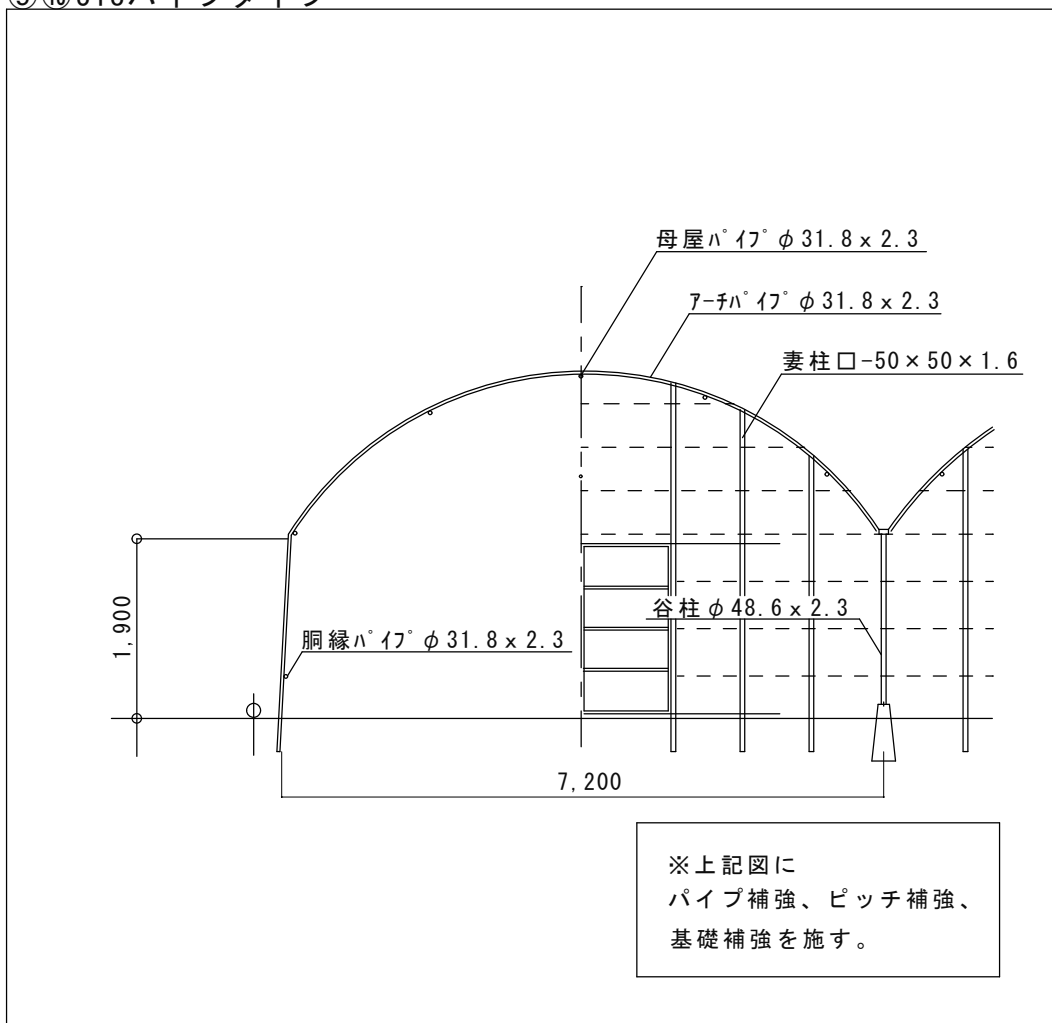
名 称		鉄骨補強型パイプハウス
		補強型ハウス
		⑦ □-100×50タイプ(通常基礎)
間	口 (m)	5.4~8.0
奥	行 (m)	30~100
軒	高 (m)	1.8~3.0
1スパン	(m)	@2.5~3.0
屋根	勾配	ドーム型
パイプ	間隔 (m)	@0.5
主 要 資 材	基礎	170□×500□×700
	合掌	□-100×50×2.3
	側・谷柱	□-100×50×2.3
	陸梁	L-50×50×4
	妻柱	□-50×50×1.6
	母屋材	φ38.1×2.3(1.6)
	胴縁	φ38.1×2.3
	アーチ	φ19.1×1.2
	ブレース	屋根・柱 φ9
被覆材	軟質プラスチックフィルム	

(2) 補強型ハウス
 ⑧486パイプタイプ



名 称		鉄骨補強型パイプハウス
		補強型ハウス
		⑧486パイプタイプ
間 口 (m)		4.5~7.2
奥 行 (m)		30~100
軒 高 (m)		1.8~3.0
1スパン (m)		@2.5~3.0
屋根勾配		ドーム型
パイプ間隔 (m)		@0.5
主 要 資 材	基礎	150□×400□×600
	合掌	φ48.6×2.3
	側・谷柱	φ48.6×2.3
	陸梁	—
	妻柱	□-50×50×1.6
	母屋材	φ38.1×2.3
	胴縁	φ38.1×2.3
	アーチ	φ19.1×1.2
	ブレース	屋根・柱 φ9
被覆材	軟質プラスチックフィルム	

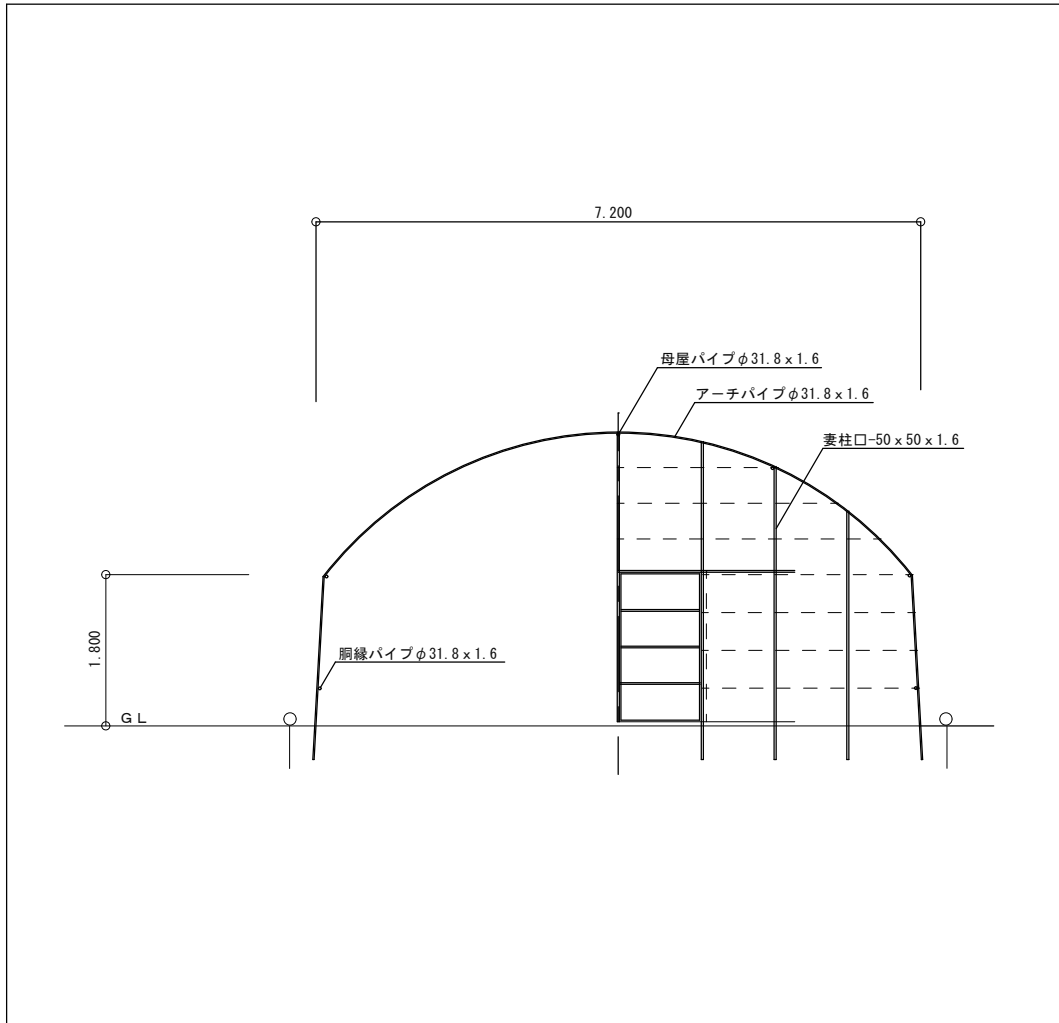
(2) 補強型ハウス
 ⑨⑩318パイプタイプ



名 称		連棟・単棟パイプハウス 補強型ハウス ⑨⑩318パイプタイプ
間 口 (m)		連棟5.4~7.2・単棟4.5~7.2
奥 行 (m)		30~100
軒 高 (m)		1.5~2.5
1スパン (m)		連棟谷柱@2.0
屋根勾配		ドーム型
パイプ間隔 (m)		@0.5
主 要 資 材	基礎	谷柱基礎120□×250□×600
	合掌	—
	側・谷柱	連棟谷柱φ48.6×2.3
	陸梁	—
	妻柱	□-50×50×1.6
	母屋材	φ31.8×2.3
	胴縁	φ31.8×2.3
	アーチ	φ31.8×2.3
	ブレース	谷柱 φ9
被覆材	軟質プラスチックフィルム	

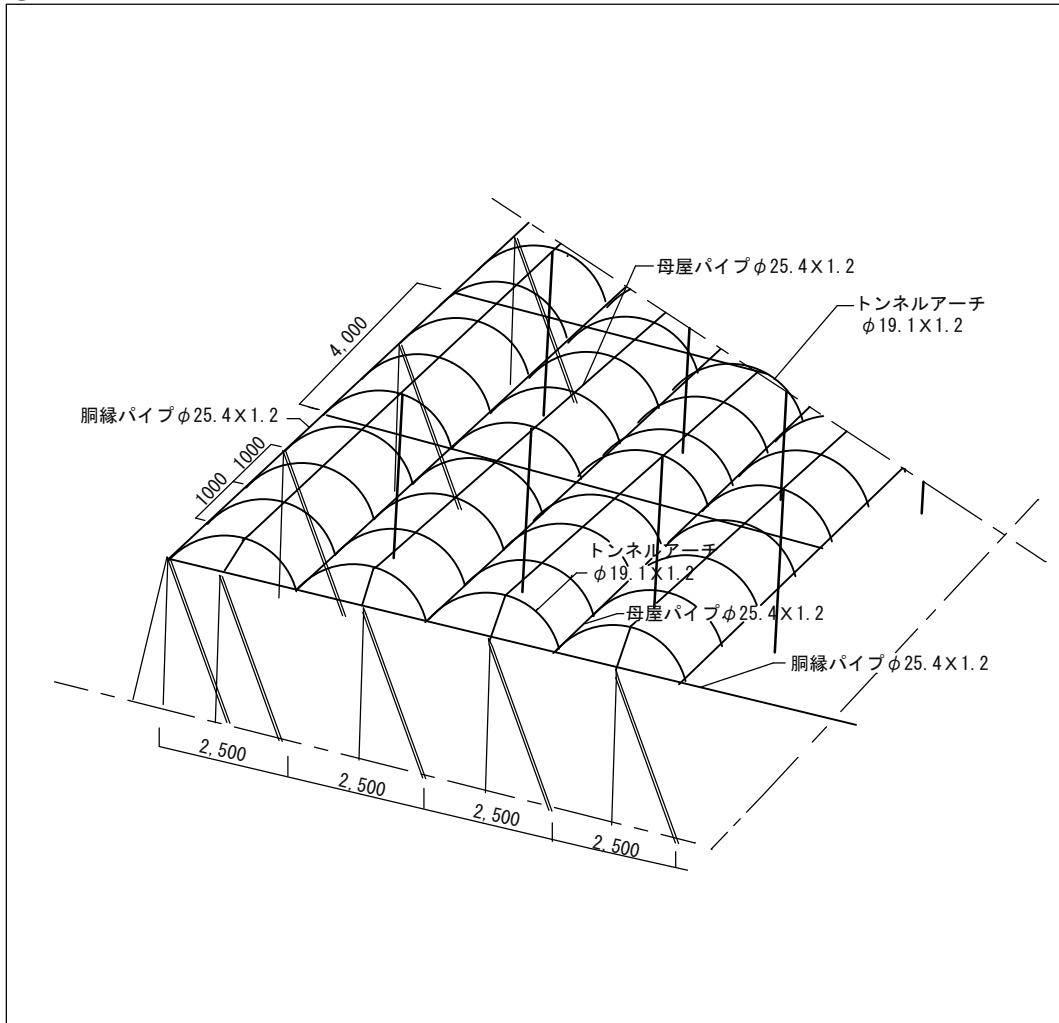
(2) 補強型ハウス

⑪ 318パイプタイプ (雨よけハウス)



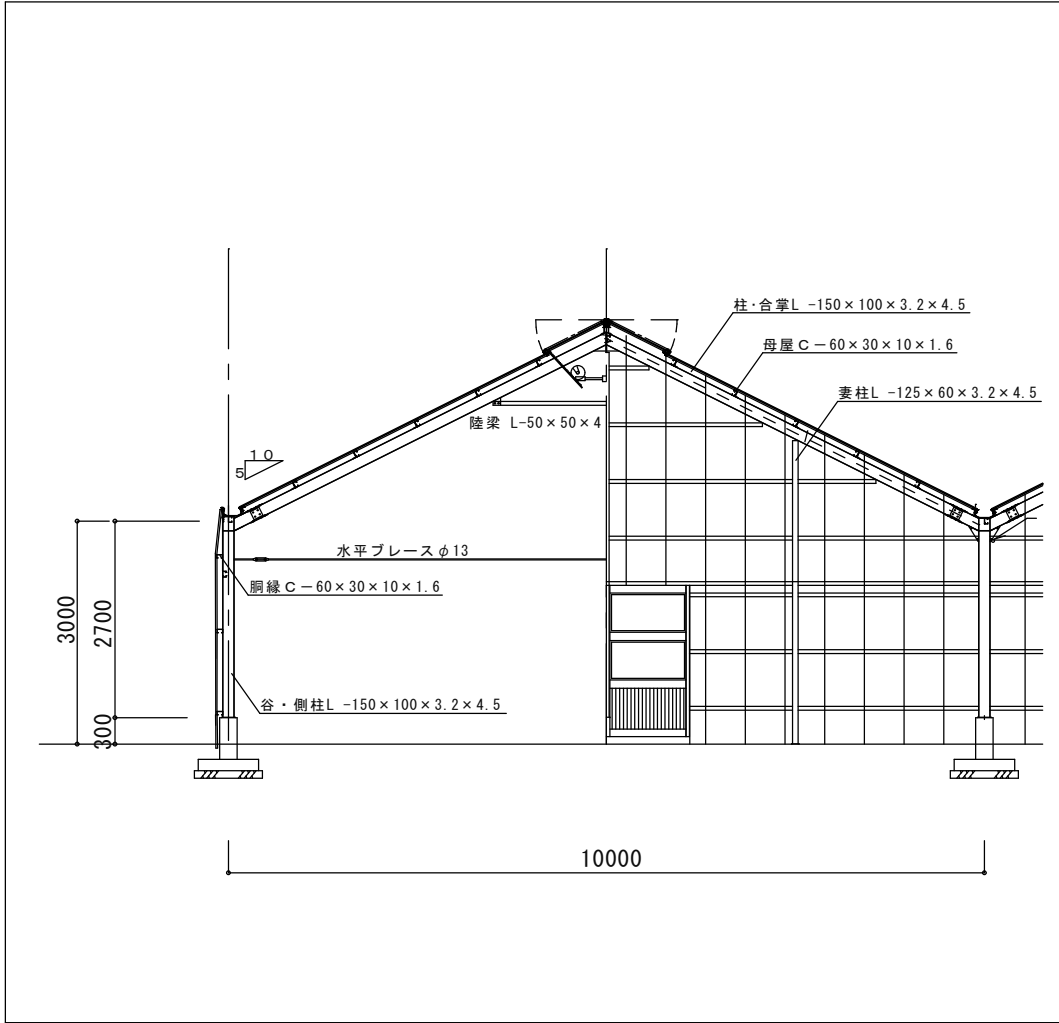
名 称		雨よけハウス
		補強型ハウス
		⑪ 318パイプタイプ
間 口 (m)		4.5~7.2
奥 行 (m)		30~100
軒 高 (m)		1.5~2.5
1スパン (m)		—
屋根勾配		ドーム型
パイプ間隔 (m)		@0.5
主 要 資 材	基礎	—
	合掌	—
	側・谷柱	—
	陸梁	—
	妻柱	□-50×50×1.6
	母屋材	φ31.8×1.6
	胴縁	φ31.8×1.6
	アーチ	φ31.8×1.6
	ブレース	—
被覆材	軟質プラスチックフィルム	

(2) 補強型ハウス
 ⑫191パイプタイプ



名 称		トンネル
		補強型ハウス
		⑫191パイプタイプ
間 口 (m)		2.5~4.5
奥 行 (m)		—
軒 高 (m)		—
1スパン (m)		—
屋根勾配		ドーム型
パイプ間隔 (m)		@1.0
主 要 資 材	基礎	—
	合掌	—
	側・谷柱	—
	陸梁	—
	妻柱	—
	母屋材	φ 25.4×1.2
	胴縁	φ 25.4×1.2
	アーチ	φ 19.1×1.2
	ブレース	—
被覆材	軟質プラスチックフィルム	

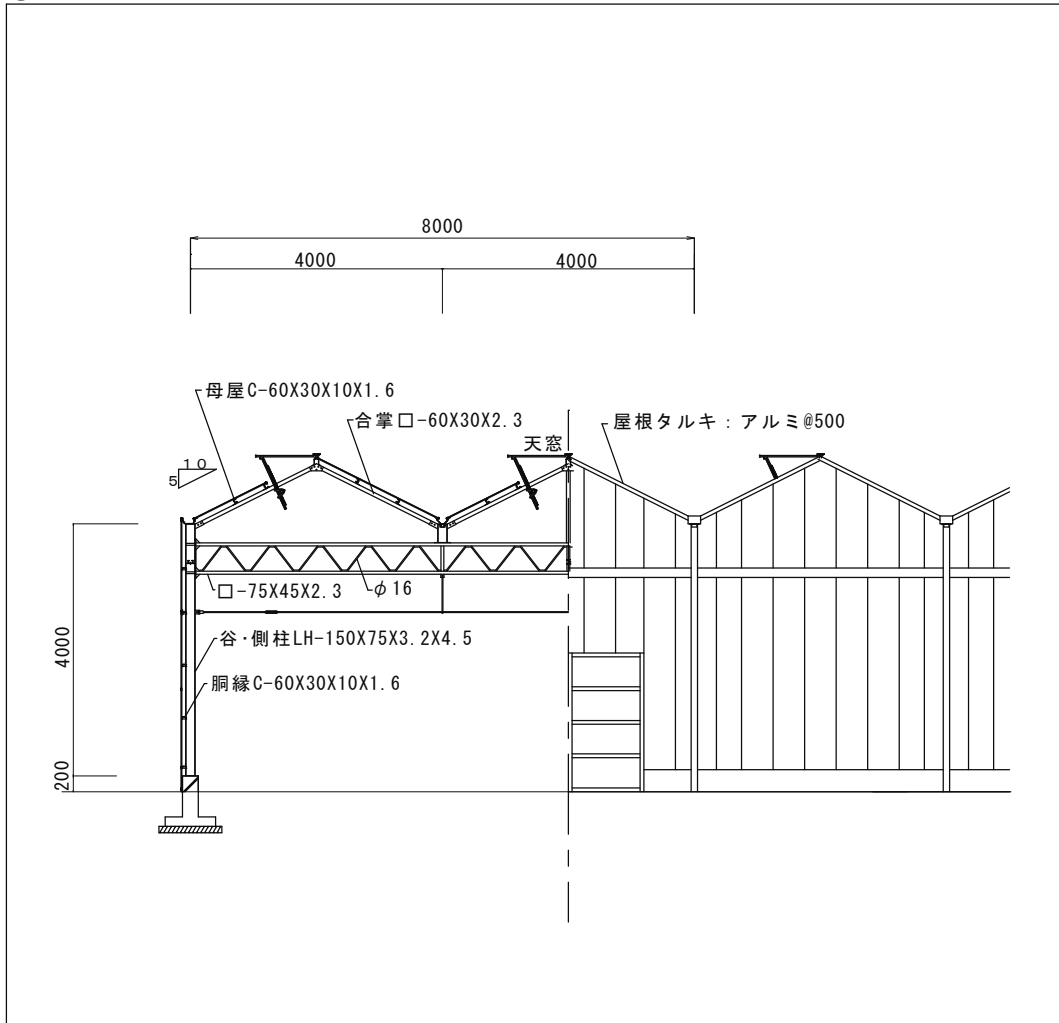
(3) 従来型ハウス
 ⑬ H型鋼タイプ



名 称		鉄骨ハウス (大屋根タイプ)
		従来型ハウス
		⑬ H型鋼タイプ
間 口 (m)		6.0~12.0
奥 行 (m)		30~100
軒 高 (m)		2.0~3.5
1スパン (m)		@3.0
屋根勾配		5/10 (26.5°)
タルキ間隔 (m)		@0.5
主 要 資 材	基礎	基礎寸法は土壌条件による
	合掌	LH-150×100×3.2×4.5
	側・谷柱	LH-150×100×3.2×4.5
	陸梁	L-50×50×4
	妻柱	LH-125×60×3.2×4.5
	母屋材	C-60×30×10×1.6
	胴縁	C-60×30×10×1.6
	アーチ	-
	ブレース	屋根・柱 φ13
被覆材	軟質・硬質プラスチックフィルム (長期展張)	

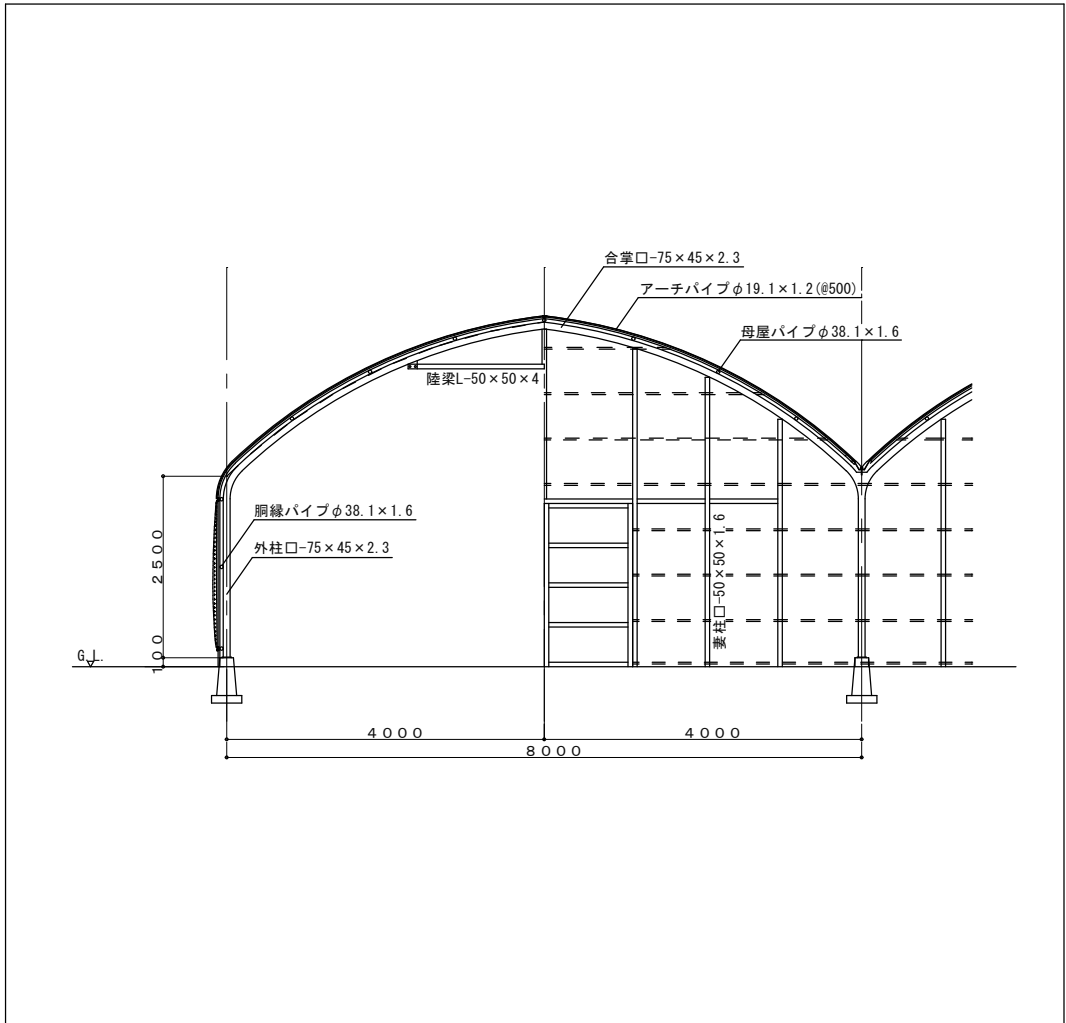
(3) 従来型ハウス

⑭ H型鋼タイプ (屋根型)



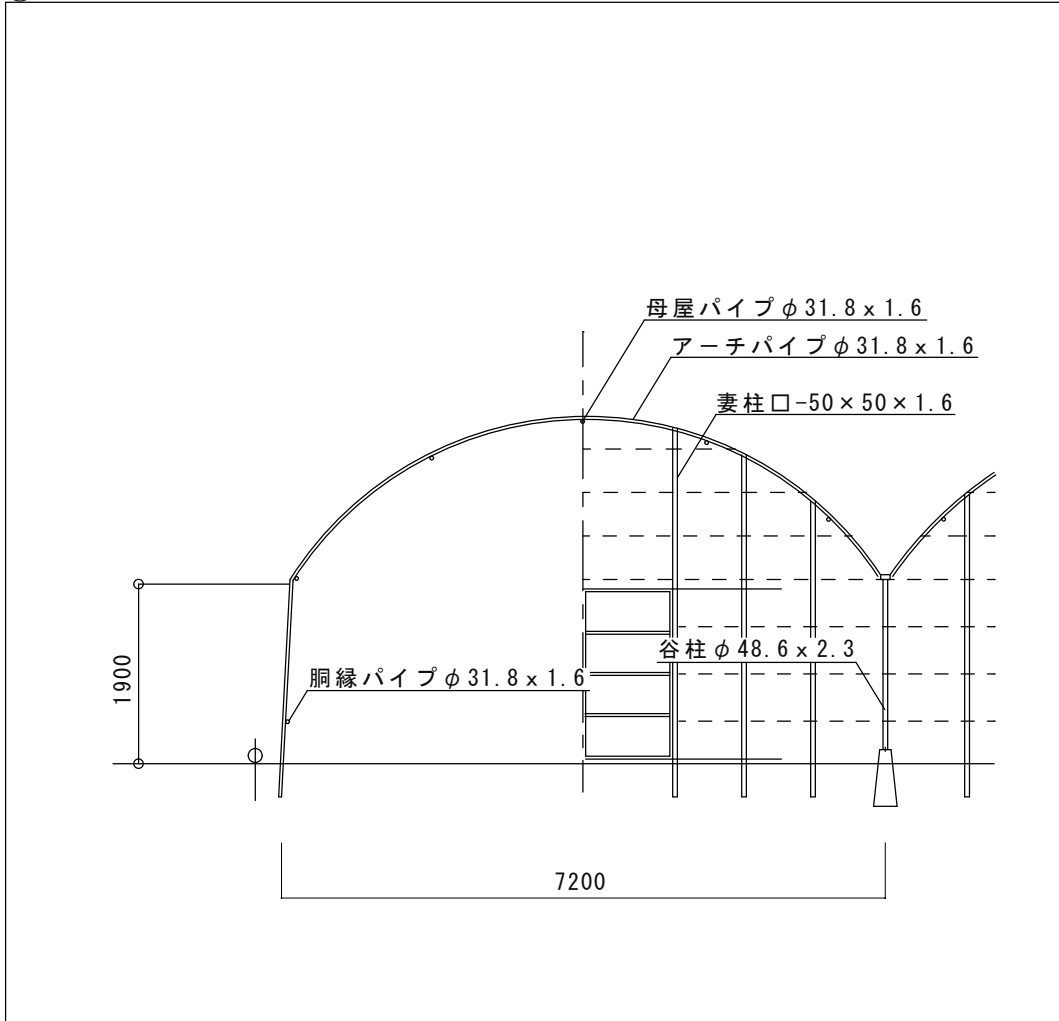
名称		フェンロー型ハウス
		従来型ハウス
		⑭ H型鋼タイプ (屋根型)
間口 (m)		6.4~12.0
奥行 (m)		30~100
軒高 (m)		3.0~4.5
1スパン (m)		@3.0
屋根勾配		5/10 (26.5°)
タルキ間隔 (m)		@0.5
主要 資 材	基礎	基礎寸法は土質条件による
	合掌	□-60×30×2.3
	側・谷柱	LH-150×75×3.2×4.5
	陸梁	トラス式 □-75×45×2.3、φ16
	妻柱	LH-125×60×3.2×4.5
	母屋材	C-60×30×10×1.6
	胴縁	C-60×30×10×1.6
	アーチ	-
	ブレース	屋根・柱 φ13
被覆材	軟質・硬質プラスチックフィルム (長期展張)	

(3) 従来型ハウス
 ⑮ □-75×45タイプ(通常基礎)



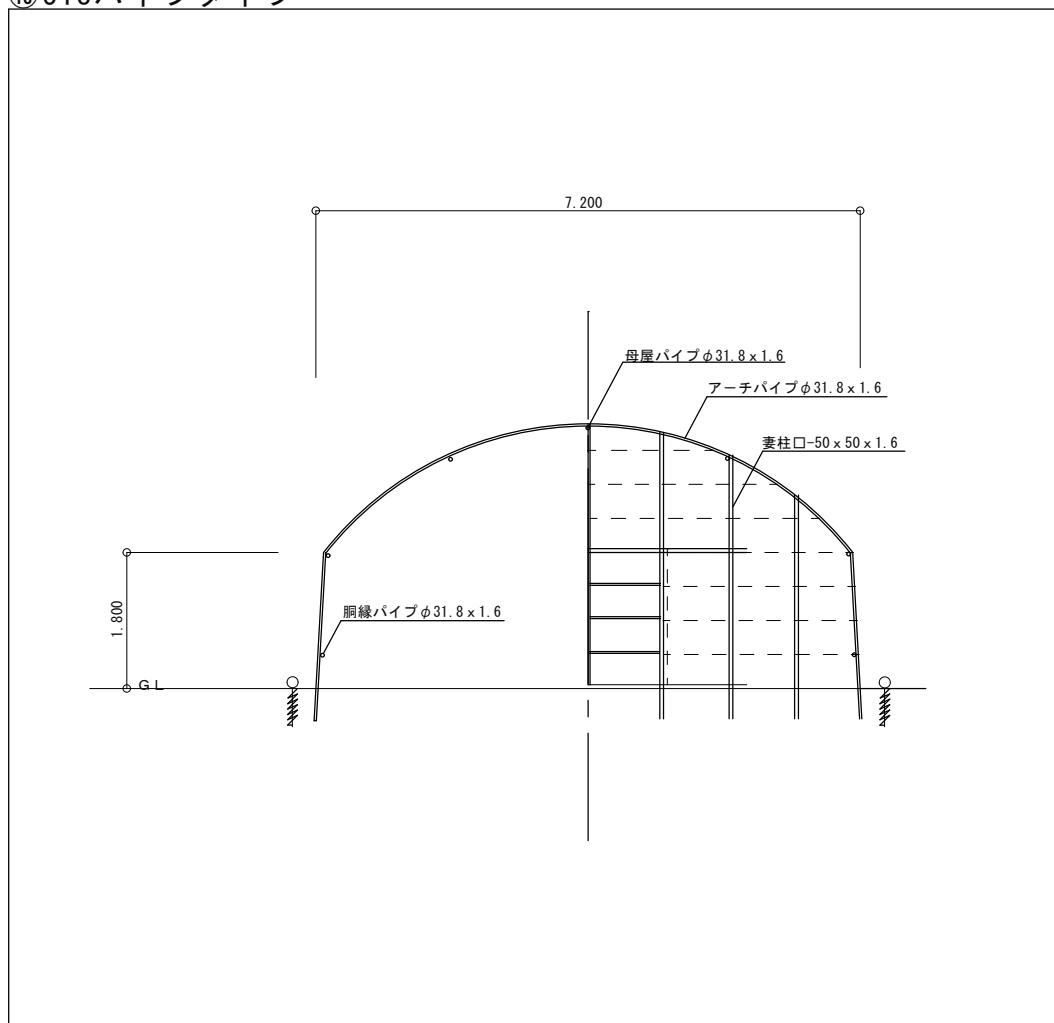
名 称		鉄骨補強型パイプハウス
		従来型ハウス
		⑮ □-75×45タイプ(通常基礎)
間 口 (m)		5.4~8.0
奥 行 (m)		30~100
軒 高 (m)		1.8~3.0
1スパン (m)		@2.5~3.0
屋根勾配		ドーム型
タルキ間隔 (m)		@0.5
主 要 資 材	基礎	170□×500□×700
	合掌	□-75×45×2.3
	側・谷柱	□-75×45×2.3
	陸梁	L-50×50×4
	妻柱	□-50×50×1.6
	母屋材	φ38.1×1.6
	胴縁	φ38.1×1.6
	アーチ	φ19.1×1.2
	ブレース	屋根・柱 φ9
被覆材	軟質プラスチックフィルム	

(3) 従来型ハウス
 ⑰318パイプタイプ



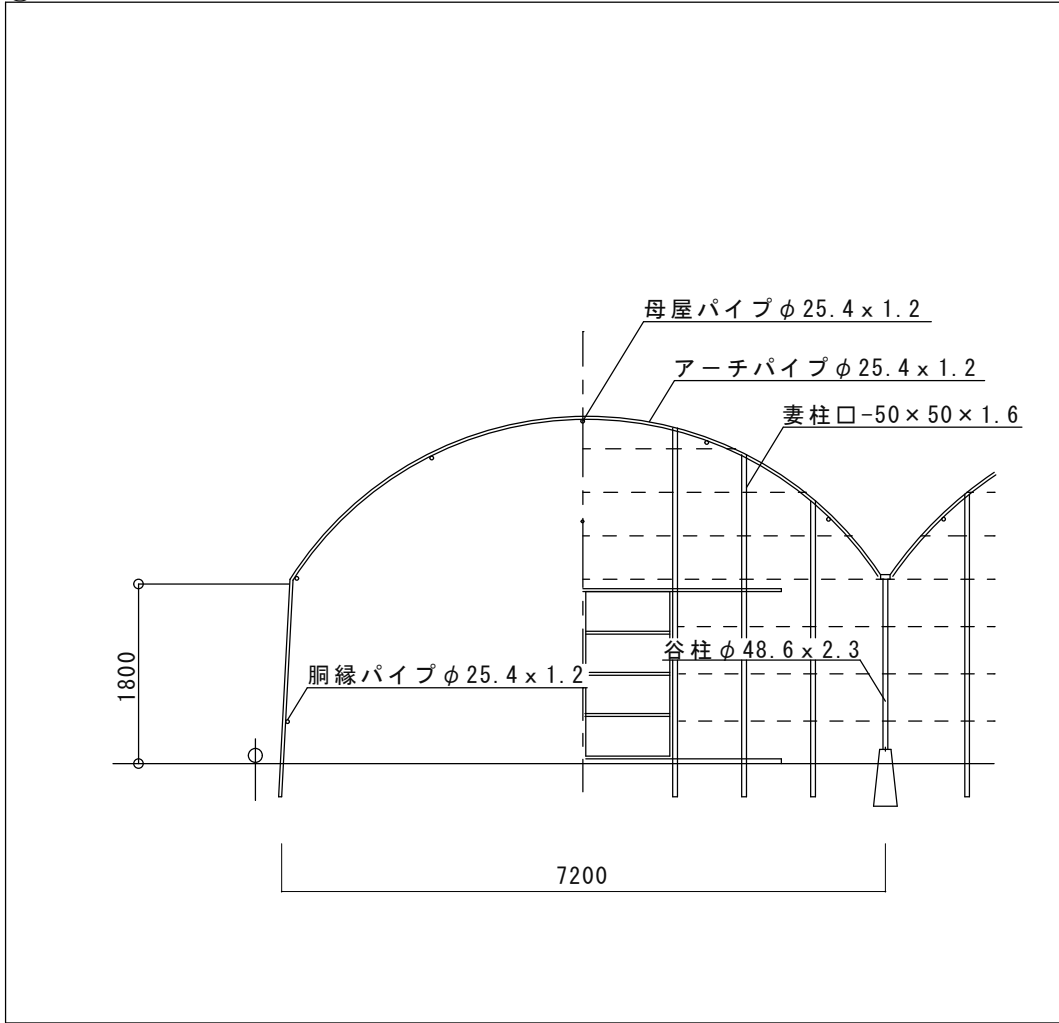
名 称		連棟パイプハウス
		従来型ハウス
		⑰318パイプタイプ
間	口 (m)	5.4~7.2
奥	行 (m)	30~100
軒	高 (m)	1.5~2.5
1	スパン (m)	@2.0
屋	根 勾 配	ドーム型
パイ	プ 間 隔 (m)	@0.5
主 要 資 材	基礎	谷柱基礎 120□×250□×600
	合掌	—
	側・谷柱	連棟谷柱 φ48.6×2.3
	陸梁	—
	妻柱	□-50×50×1.6
	母屋材	φ31.8×1.6
	胴縁	φ31.8×1.6
	アーチ	φ31.8×1.6
	ブレース	谷柱 φ9
被覆材	軟質プラスチックフィルム	

(3) 従来型ハウス
 ⑩318パイプタイプ



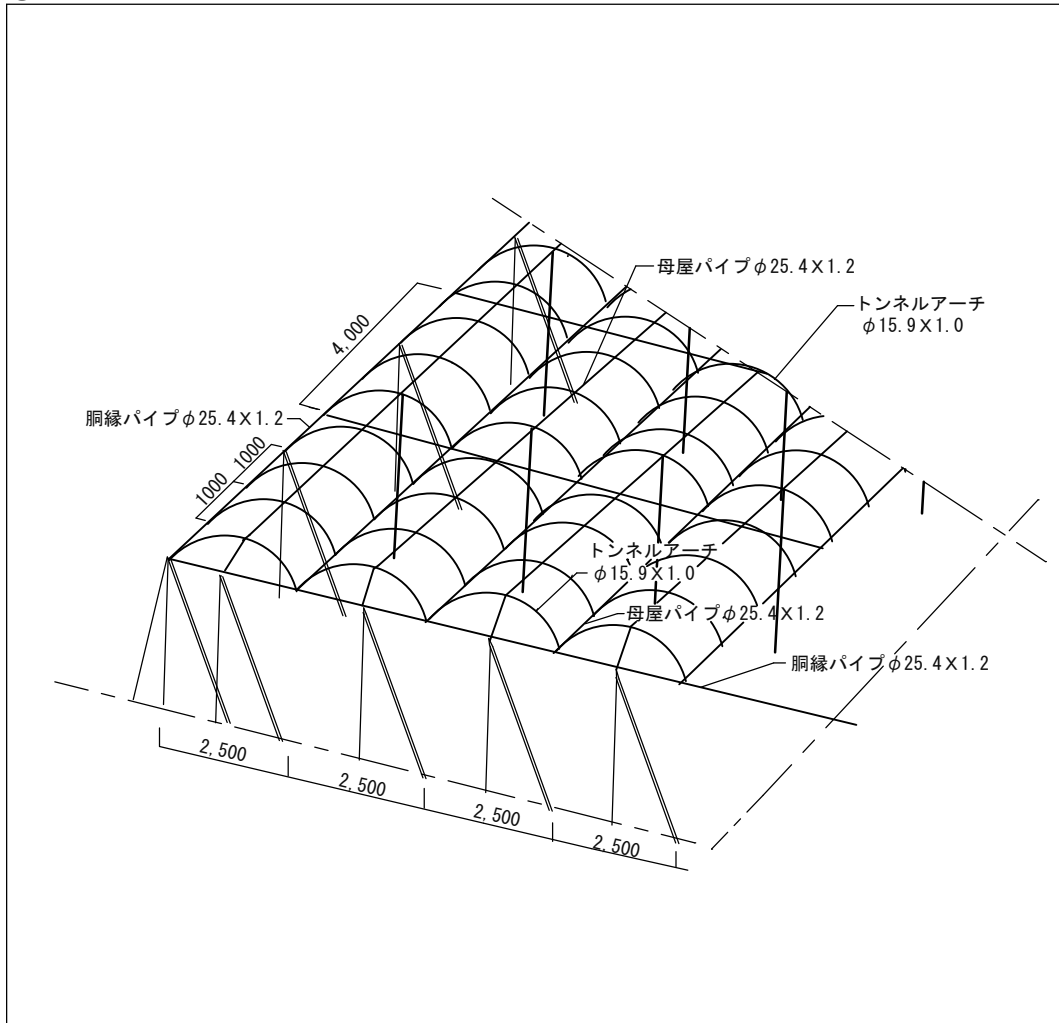
名 称		単棟パイプハウス
		従来型ハウス
		⑩318パイプタイプ
間 口 (m)		4.5~7.2
奥 行 (m)		30~100
軒 高 (m)		1.5~2.5
1スパン (m)		—
屋根勾配		ドーム型
タルキ間隔 (m)		@0.5
主 要 資 材	基礎	—
	合掌	—
	側・谷柱	—
	陸梁	—
	妻柱	□-50×50×1.6
	母屋材	φ31.8×1.6
	胴縁	φ31.8×1.6
	アーチ	φ31.8×1.6
	ブレース	—
被覆材	軟質プラスチックフィルム	

(3) 従来型ハウス
 ⑱254パイプタイプ



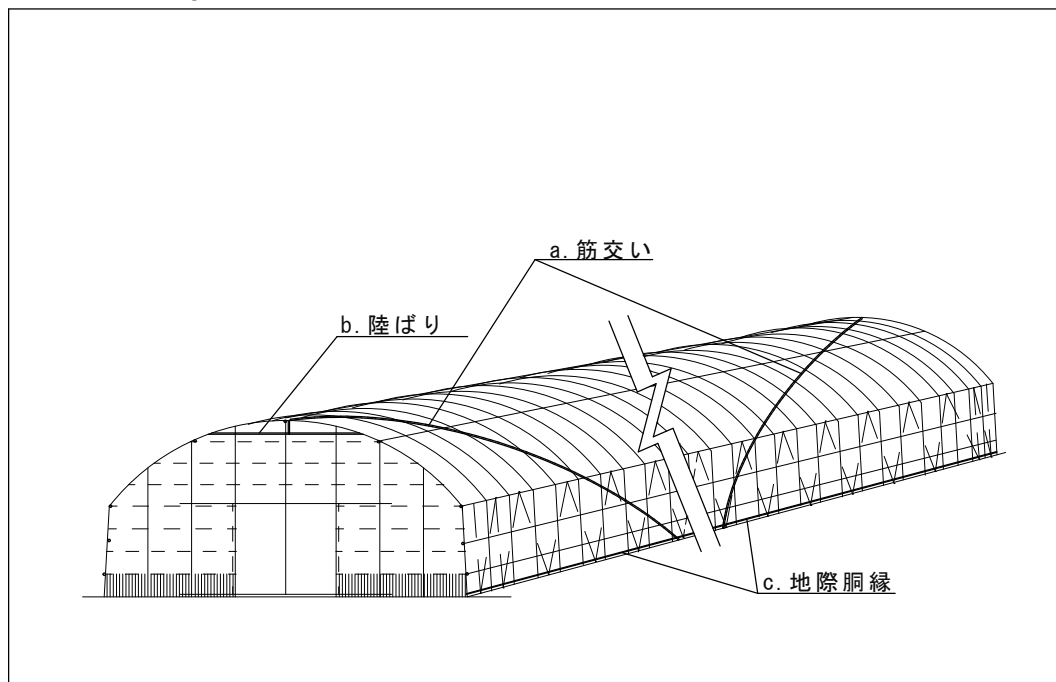
名 称		雨よけパイプハウス
		従来型ハウス
		⑱254パイプタイプ
間 口 (m)		4.5~7.2
奥 行 (m)		30~100
軒 高 (m)		1.5~2.5
1スパン (m)		谷柱@2.0
屋根勾配		ドーム型
パイプ間隔 (m)		@0.5
主 要 資 材	基礎	谷柱基礎120□×250□×600
	合掌	—
	側・谷柱	φ48.6×2.3
	陸梁	—
	妻柱	□50×50×1.6
	母屋材	φ25.4×1.2
	胴縁	φ25.4×1.2
	アーチ	φ25.4×1.2
	ブレース	谷柱 φ9
被覆材	軟質プラスチックフィルム	

(3) 従来型ハウス
 ⑳159パイプタイプ



名 称		トンネル
		従来型ハウス
		⑳159パイプタイプ
間 口 (m)		1.5~4.5
奥 行 (m)		—
軒 高 (m)		—
1スパン (m)		—
屋根勾配		ドーム型
パイプ間隔 (m)		@1.0
主 要 資 材	基礎	—
	合掌	—
	側・谷柱	—
	陸梁	—
	妻柱	—
	母屋材	φ 25.4×1.2
	胴縁	φ 25.4×1.2
	アーチ	φ 15.9×1.0
	ブレース	—
被覆材	軟質プラスチックフィルム	

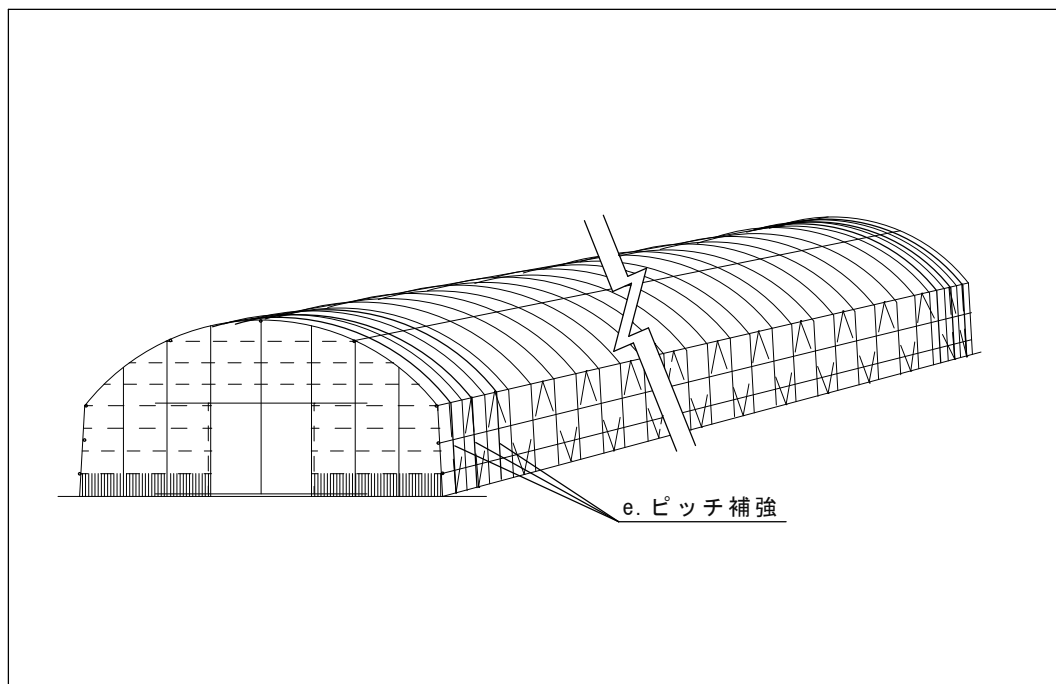
(4) 補強
ア パイプ補強



補強方法	補強効果等
a. 筋交い補強 (母屋パイプ含む)	<p><効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウスのサイド方向の強度が強くなる。 ・アーチパイプの開き防止になる。 <p><設置方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・筋交いパイプや母屋パイプはアーチパイプと同サイズのパイプを用いる。 ・アーチパイプと筋交いパイプや母屋パイプの接続金具はワイヤー製(線材)ではずれやすいので鉄板製(くさび式やクランプ式)を用いる。
b. 陸ばり補強	<p><効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウスのサイド方向の強度が強くなる。 <p><設置方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウスの肩方向に設置するとより効果が高まる。 ・設置するパイプサイズは、アーチパイプと同径が望ましい。
c. 地際胴縁補強	<p><効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーチパイプの不同沈下や開き防止に効果がある。 <p><設置方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地際にアーチパイプと同径のパイプを設置する。地中に設置するとより効果が高まる。 ・接続金具は、鉄板製(くさび式やクランプ式)を使用し、ずれを防止する。

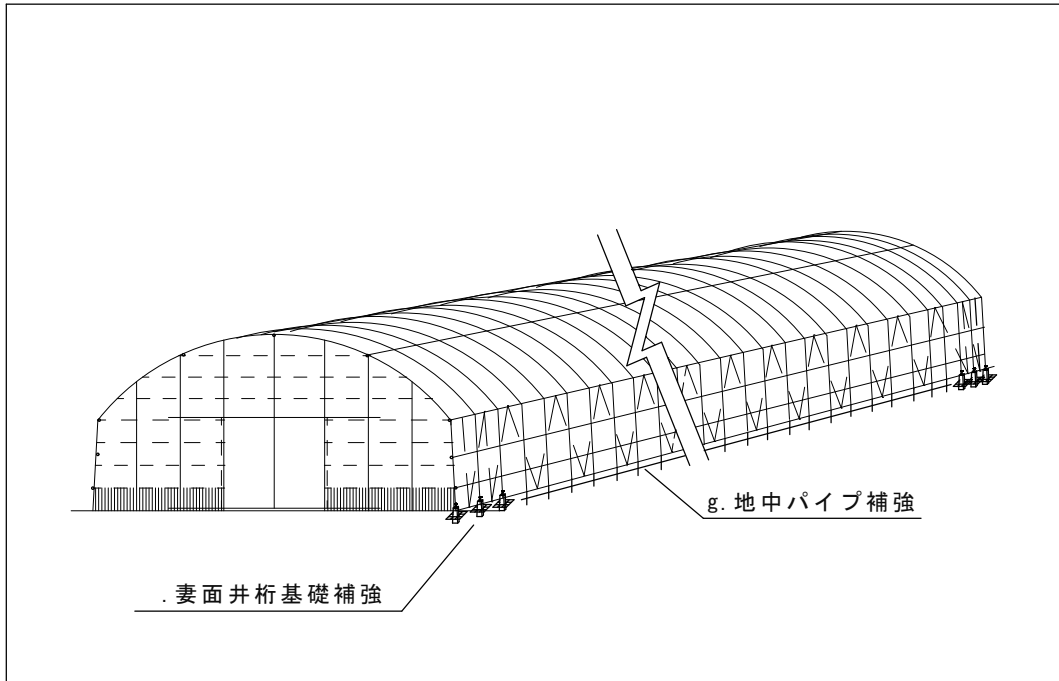
補強方法	補強効果等																		
4. パイプ肉厚補強	<p data-bbox="534 257 654 291"><効果></p> <ul data-bbox="534 291 1189 324" style="list-style-type: none"> ・肉厚パイプを使用する部分の強度が強くなる。 <p data-bbox="534 358 837 392"><参考>断面性能比較</p> <table border="1" data-bbox="550 392 1236 604"> <thead> <tr> <th>規格 (mm)</th> <th>重量 (kg/m)</th> <th>断面係数 (cm³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25.4φ × 1.2</td> <td>0.716</td> <td>0.527</td> </tr> <tr> <td>25.4φ × 1.6</td> <td>0.939</td> <td>0.670</td> </tr> <tr> <td>31.8φ × 1.2</td> <td>0.906</td> <td>0.851</td> </tr> <tr> <td>31.8φ × 1.6</td> <td>1.190</td> <td>1.090</td> </tr> <tr> <td>31.8φ × 2.3</td> <td>1.670</td> <td>1.470</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="550 604 1268 638">※断面係数：数値が大きくなれば、強度も強くなる。</p>	規格 (mm)	重量 (kg/m)	断面係数 (cm ³)	25.4φ × 1.2	0.716	0.527	25.4φ × 1.6	0.939	0.670	31.8φ × 1.2	0.906	0.851	31.8φ × 1.6	1.190	1.090	31.8φ × 2.3	1.670	1.470
規格 (mm)	重量 (kg/m)	断面係数 (cm ³)																	
25.4φ × 1.2	0.716	0.527																	
25.4φ × 1.6	0.939	0.670																	
31.8φ × 1.2	0.906	0.851																	
31.8φ × 1.6	1.190	1.090																	
31.8φ × 2.3	1.670	1.470																	

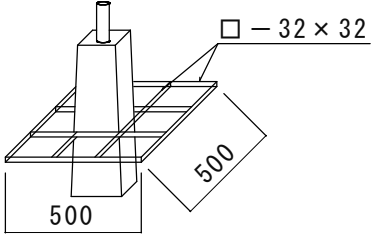
(4) 補強
イ ピッチ補強



補強方法	補強効果等										
e. ピッチ補強	<p><効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・妻面側のアーチパイプの設置間隔を半分にすると、妻面部分の引き抜き強度が強くなる。 <p><設置方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・妻面から3ピッチまでを通常の間隔の半分で設置する。 <p><パイプ地中押し込み深さ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂質土など地盤条件の悪いところは基準以上に押し込む方が望ましい。 ・間口の広さにより深さが異なるため下記の数値を目安とする。 <table border="1" data-bbox="748 1485 1054 1659"> <thead> <tr> <th>間口 (m)</th> <th>深さ (cm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.6~4.5</td> <td>30以上</td> </tr> <tr> <td>5.4</td> <td>40以上</td> </tr> <tr> <td>6.0</td> <td>45以上</td> </tr> <tr> <td>7.2</td> <td>50以上</td> </tr> </tbody> </table>	間口 (m)	深さ (cm)	3.6~4.5	30以上	5.4	40以上	6.0	45以上	7.2	50以上
間口 (m)	深さ (cm)										
3.6~4.5	30以上										
5.4	40以上										
6.0	45以上										
7.2	50以上										

(4) 補強
ウ 基礎補強



補強方法	補強効果等
<p>妻面井桁基礎補強</p>	<p><効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウスの妻面部分の引き抜き強度が強くなる。 <p><設置方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・井桁を取り付けたコンクリート基礎を妻面から3基設置する。 ・参考コンクリート基礎 基礎コンクリートサイズ 150×200×600 鉄製井桁(□-32×32) 500×500 
<p>g. 地中パイプ補強</p>	<p><効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーチパイプの不同沈下や開き防止に効果がある。 ・基礎部の引き抜き強度が強くなる。 <p><設置方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーチパイプと同径のパイプをGLから深さ=0.3m程度に設置する。 ・接続金具は、鉄板製(くさび式やクランプ式)を使用し、ずれを防止する。

2 被覆体

MA
 300nm
 10 15
 FRA PC
 2, 500nm
 PC
 MA
 110
 380nm
 10 15
 85 91%
 30
 FRP
 9μ m
 0.6 1.0mm
 FRP
 3,000nm
 FRA
 MA
 FRP
 0.7 1.0mm
 23
 3,000nm
 90
 10 250nm
 (

3 ハウス附帯施設等

	<p>0.5 3 0kg/cm² 10 /</p> <p>25 40mm 0.6 1.0mm 90</p> <p>120° 15 20cm</p> <p>cm 0.2 0.5mm 15</p> <p>cm 0.1 0.5 / m 0.1 2 0kg/cm² 10m</p> <p>1.5m</p>

	<p style="text-align: right;">0.5 1.0mm 0.2 0.5kg</p> <p>f/cm²</p> <p>a</p> <p>b</p> <p>c</p> <p>d</p>

別表 点滴チューブの仕様・性能比較

			B	A	17		T	80		2,000	20	100
(mm)	13.8	15.2	14.0	15.6	14.6	15.9	16.0	16.0	16.1	15.2	15.6	16.0
(mm)	1.1	0.5	1.0	1.1	1.0	0.3	0.2	0.2	0.2	0.9	0.5	0.3
(cm)	10, 15, 20, 30, 40, 50	15, 20, 30, 40, 50	10, 15, 20, 25, 30, 40, 50	10, 15, 20, 25, 30, 40, 50	20, 30, 40, 50	10, 15, 20, 30	10, 20	20, 30, 40	20	15, 20, 30, 40, 50, 60	20, 30, 40, 50	20, 30, 40, 50
(ml/min)	38	30, 38	38	38	38	17	11.1-16.7	16.4	13.6	33.3	29.2	27.5
(kg/)	0.6-3.5	0.5-1.5	0.4-3.5	0.5-3.5	0.5-3.5	0.4-1.4	0.3-1.0	0.3-0.85	0.3-0.65	0.3-3.0	0.3-1.4	0.3-0.1
(ml)	86	50	98	98	98	-	90%/100m	90%/100m	90%/100m	90%/100m	90%/100m	90%/100m
(/ml)	10	5	10	10	10	3	5	2-3	1	7	5	3
	270	-	-	300	-	150	-	-	-	170	-	-
20P	220	80	100	240	227	120	60	85	35	160	145	105
30P	180	70	90	180	180	100	60	55		150	130	85
(ml)	400	1,500	400	400	200	300	450	250	250	600	600	200
								1,000				

	<p style="text-align: center;">表 防虫網の目合いと有効な害虫類（防除基準より抜粋）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td data-bbox="523 777 710 855"></td> <td data-bbox="710 777 1321 855"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="523 855 710 1131"> 0.4mm 0.4mm mm mm mm </td> <td data-bbox="710 855 1321 1131"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">0.4 0.6 0.8 mm</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">0.4mm</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">PP PE PET</p>			0.4mm 0.4mm mm mm mm	
0.4mm 0.4mm mm mm mm					

表 目合いが細かい防虫網の糸の太さと空隙率

	(d)	
0.4mm	75	61
	150	44 48
	165	43
0.6mm	120	57
	150	55
	165	54
1mm	280	62

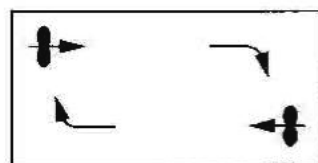
()
15

	<p>540nm</p> <p>20W 10a 15</p> <p>10a 20 24 20W</p> <p>30</p>

0.6m/s

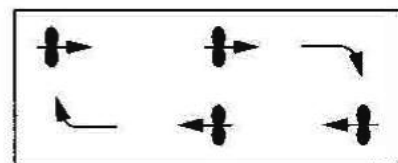
35 45cm

図 水平空気流動のための循環扇の標準的配置



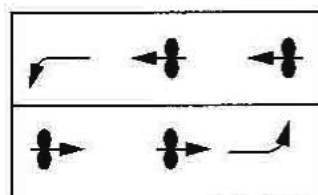
奥行き18m以下

(a) 小型単棟温室

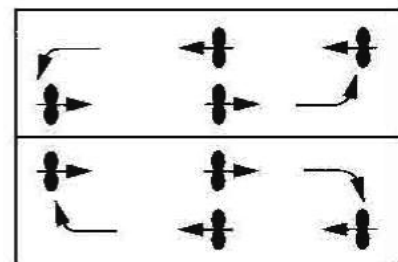


奥行き18m以上

(b) 奥行き長い単棟温室



(c) 奥行き長い 開口方向ファン



(d) 奥行き長い 開口方向ファン

	40cm
	30
	(

表-1 主な遮光資材の種類およびその特性

	()	
	18 29	
	35 70	×
	40 50	
	12 75	
	40 80	
	45 95	×
	55 97	
	20 50	
	75 90	×
1)		2006
2)	×	
3)		

	<p>LPG</p> <p>LPG</p> <p>11</p> <p>1, 000 2, 500ppm</p> <p>400ppm</p>

...

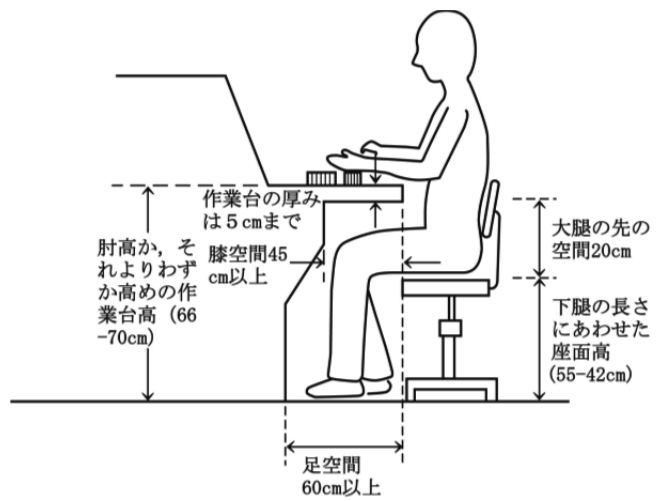
...

...

45cm 60cm

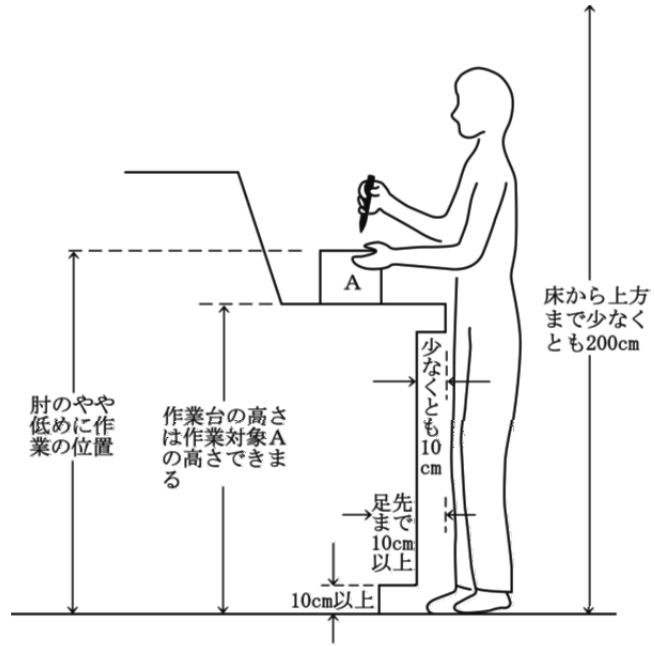
10cm 20cm

参考図



座位のための作業空間のとり方

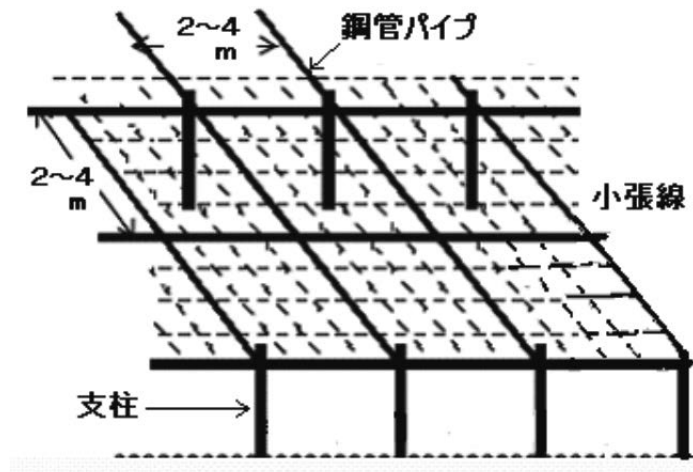
参考図



立位のための作業空間のとり方

180cm

図 パイプ棚

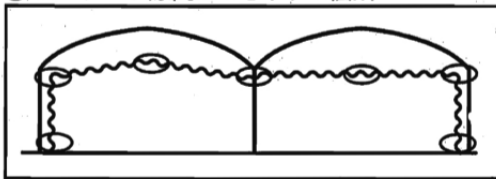


23

第3 施設の省エネルギー対策

図1 暖房機本体の点検

① カーテンの隙間がしやすい箇所



② 仕切りカーテンの隙間



③ 二層カーテン間の隙間

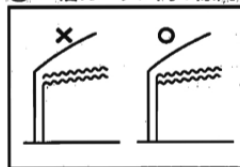


図2 ハウスの隙間

写真1、2 一層カーテンを設置した事例

写真3、4 温度レコーダー（左）、

10a

25m



写真5 循環扇の設置

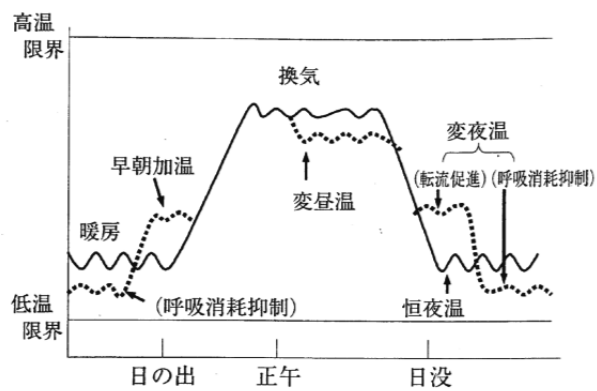


図3 変温管理の概念図

15

18

10

10a

10a

50KW



写真6、7 ヒートポンプの設置事例

300 350



写真8、9 排熱回収装置

(左: オイルヘラーズ (住商マシネックス)、 右: エコノマイザー (ネボン))

第4 ハウス等の園芸用施設導入及び保守管理等

1 基本事項

Ⅲ 参 考 資 料

第 1 鳥獣害対策について

1 総論

『鳥獣にとって魅力のない集落環境』

2 侵入防止柵の整備について

3 獣種別被害防止対策

1. 6m

m

表1 侵入防止柵の種類と規格 (イノシシ、シカ)

	<p>m× m 10cm mm 30cm 20 30 800 1,500 m</p> <p>n× m 10cm mm 1,000 1,500 m</p>	m 30cm
	<p>n× 2.5m 10 15cm 1,500 m</p>	10cm
	<p>2.7m 3.0m cm 200 1,200 m</p>	10cm
()	<p>80cn× 2.5m 20cm 20cm 40cm 60cm 20cm 300 1,000 m n× 2.5m 20 30cm 20cm 40cm 60cm 90cm 120cm 150cm 20cm 500 1,000 m</p>	4,000

25

HP

26

25

表2 侵入防止柵の種類と規格 (中型獣類)

()	60cmx 2.5m 20cm 20cm 40cm 300 1,000 m	4,000

25

HP

21

)

25

表3 鳥類別網目選択の目安とネットの価格

		18mx 36m: 200
	20mm	14,000
	30mm	6,500
	75mm	2,000

20

)

第2 農業共済制度の概要と園芸施設共済について

1 農業共済制度の概要

22

2 園芸施設共済について

表 本県における園芸施設共済の加入、共済金支払状況

	21	22	23	24	25
(a)	93,957	93,522	92,870	92,136	92,238
()	29,140	26,034	22,261	86,210	22,907

a

a

15 25

x

x

x

平成 27 年 2 月から「園芸施設本体」と「附帯施設」の補償が拡充

$$\begin{aligned}
 & 40 \quad 600 \\
 & 3,180 \quad \times 600 \times 75 \\
 & \times \quad \underline{1,144,000} \quad (\quad) \\
 & \quad 12 \\
 & \quad 1.8 \\
 & \quad \frac{1}{2} \\
 & \quad \text{-----} \\
 & 1,144,000 \times 1.8 \times 12/12 \\
 & \times 1/2 \quad \underline{10,296} \\
 & \underline{10,296} \quad \underline{1,144,000}
 \end{aligned}$$

27

20

		H27 2		H27 2	
1		100	100	100	100
1	2	84	95	84	93
2	3	68	90	68	86
3	4	52	85	52	79
4	5	36	80	36	72
5	6	20	75	20	65
6	7		70		58
7	8		65		50
8	9		60		
9	10		55		
10			50		

27

100

75

×

$$\begin{aligned}
 & 3,180 \quad \times 600 \times 25 \\
 & \times \quad 381,000 \\
 & \quad \underline{1,525,000} \\
 & \quad 0.6 \\
 & \quad \text{-----} \\
 & 381,000 \times 0.6 \times 12/12 \quad 2,286 \\
 & \quad 10,296 \quad 2,286 \quad 12,582 \\
 & \underline{12,582} \quad \underline{1,525,000}
 \end{aligned}$$

x

$\frac{27}{1/2}$

100

50

35

11

22

185

15

別 表 組合等一覧表と関係市町村等

26

		TEL FAX	
	810-0001	1-2-4	TEL 092-721-5521
			FAX 092-721-1056
	834-0064	1962-8	TEL 0943-22-4388

	812-0063	4-20-12 TEL 092-624-2211	
	811-3436	5-5-3 TEL 0940-37-0508	
	819-1138	2-24-5 TEL 092-324-0600	
	838-0065	906-10 TEL 0946-22-3645	
	838-0065	906-10 TEL 0946-22-3811	
	833-0035	451-1 TEL 0942-53-0361	
	820-0111	958-38 TEL 0948-83-1007	
	820-0302	369-1 TEL 0948-57-0714	
	824-0031	5-1-5 TEL 0930-22-0867	
	828-0052	51 TEL 0979-82-1515	
	811-4303	603-1 TEL 093-293-0113	

第3 農業用使用済プラスチックの適正処理について

1 農業用使用済プラスチックの法律による位置付け

2 適正処理推進体制

3 処理状況

2,600

97

表 廃プラスチックの処理実績 (単位：t、%)

	974	1,278	181	112	2,545	97.3
	20	2	4	0	26	1.0
	8	22	2	12	44	1.7
	0	0	0	0	0	0.0
	1,002	1,302	187	124	2,615	100.0

H23.4 H24.3

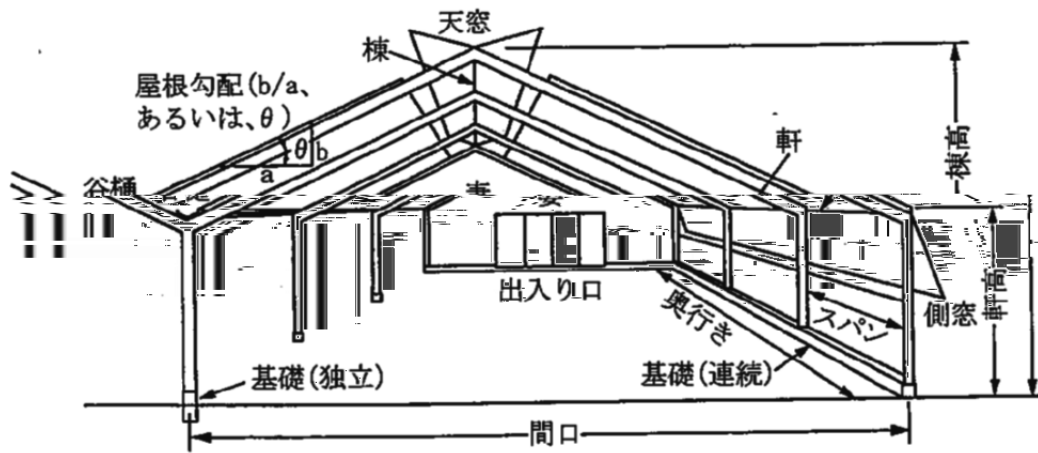
4 マニフェスト（産業廃棄物管理票）制度

12

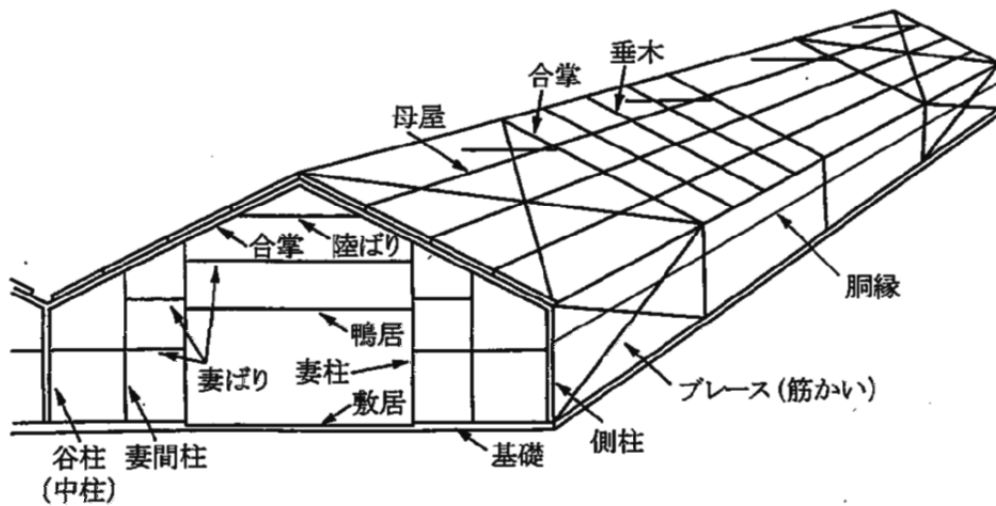
5 表示、書面の備え付けについて

第4 その他資料

1 ハウス各部の名称等



ハウス各部の名称

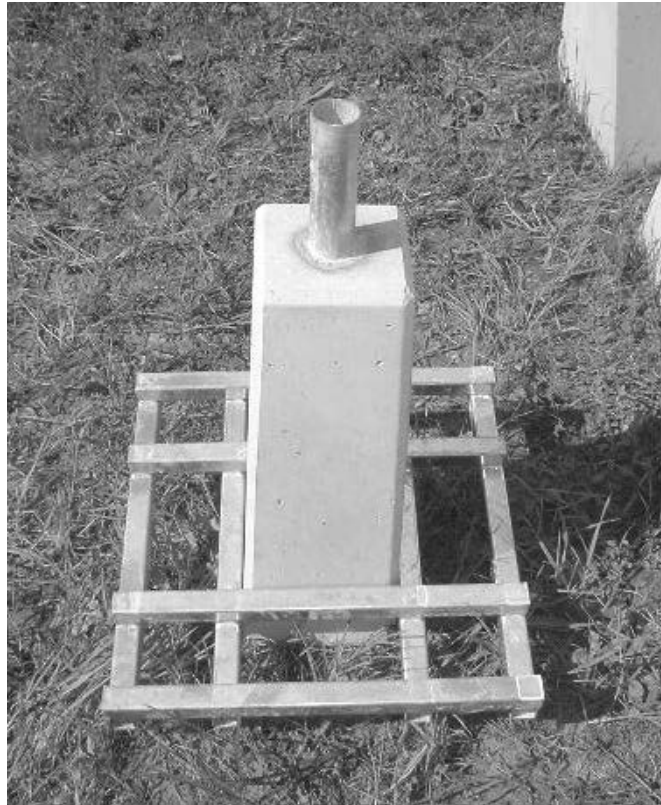


ハウスの構造部材の名称

2 パイプハウスの各補強方法事例







	~ ~
	~ ~